

# 企 画 連 携

# 地域連携の実績

## (1) 山陽圏フィールド科学センターとしての対応

### 1) シンポジウムの開催 計1件

7月18日 農学部公開シンポジウム

「地域の農業関連産業における産官学連携の役割を考える」

対象者 学内（教職員・学生）・学外（試験研究機関の研究者・行政関係者・農業関連企業者・農業生産者・流通関係者・加工業者）

### 2) 大学等地域開放事業の実施 計4件

実施月日	事業名	対象者
6月15日	第1回地域開放事業 「土と作物にふれる」	地域住民
7月24日	第1回農場見学会 「農と食の回廊」	地域住民
10月12日	第2回地域開放事業 「土と作物にふれる」	地域住民
12月21日	第3回地域開放事業 「土と作物にふれる」	地域住民

### 3) 講演会の開催 計5件

実施月日	事業名	対象者
5月14日	第1回山陽圏FSC講演会 「オーストラリアにおける肉用牛生産の現状と課題」 - Beef production biotechnology in Australia - 講師：オーストラリア CSIRO Livestock Industries Greg Harper博士	学内 教職員・学生
7月16日	第2回山陽圏FSC講演会 「中国鎮江市の農業概要と稲鴨共作」 講師：中国鎮江市科学技術局 沈暁昆科長	学内 教職員・学生
8月6日	第3回山陽圏FSC講演会 「インドネシアにおける熱帯果樹のビジネス」 - Tropical Fruits Business in Indonesia - 講師：インドネシア ボゴール大学 Roedhy Poerwanto 教授	学内 教職員・学生
2月26日	第4回山陽圏FSC講演会 「写真で見るアジアのフィールド」 講師：岡山大学農学部 黒田俊郎教授 「作物の起源と伝播」 講師：岡山大学農学部 吉野熙道助教授	学内 教職員・学生
3月17日	第5回山陽圏FSC講演会 講師：京都大学農学研究科 大西近江教授	学内 教職員・学生 「栽培植物とその野生祖先種」

## (2) 山陽圏フィールド科学センターの運営会議委員の対応

### 1) 共同・受託研究等 計17件（主な研究等を以下に記載）

名 称：拠点大学方式によるインドネシアとの学术交流（日本学術研究会支援）

相手先：ボゴール農科大学（インドネシア）

タイトル：植物資源の持続的利用

研究期間：平成14年10月24日～11月1日

名 称：平成14年度文部科学省科学研究費補助金

相手先：龍谷大学・タイコンケン大学他

タイトル：ドンデーン村再々訪－東北タイ天水田農村における40年間の動態研究－

研究期間：平成14年4月1日～平成17年3月31日

名 称：共同研究

相手先：鎮江市科学技術局（中国）

タイトル：アゾラー水禽類－水稲同時作に関する研究

研究期間：平成14年4月10日～平成15年3月31日

名 称：宮城県の豚系統造成事業における共同研究

相手先：宮城県畜産試験場

タイトル：デュロック種におけるセグリゲーション解析による主働遺伝子の探索

研究期間：平成14年4月1日～8月31日

名 称：岡山県における黒毛和種産肉能力検定成績に関する研究

相手先：岡山県総合畜産センター

タイトル：遺伝的評価システムの統合化に関する研究

研究期間：平成14年4月1日～平成15年3月31日

### 2) 技術指導 計81件（主な技術指導の内容と相手先を以下に記載）

相手先：全国合鴨水稲会・おかもま合鴨水稲会・岡山県農業改良普及センター・岡山県邑久町農産課・岡山県勝英農業改良普及センター・沖縄県金武町農林水産課・山形県立農業試験場・広島県農業技術センター・岡山県立興陽高校・兵庫県立播磨農業高校・福岡県立三池農業高校・JA香川県営農部等

内 容：水生シダ植物の合鴨農法への導入，合鴨農法におけるアイガモとアヒルの飼育，若手農業後継者と学生の技術交流

### 3) 講演・講義等 計27件（主な講演・講義等を以下に記載）

名 称：平成14年度農業改良普及員技術向上研修講演

相手先：岡山県農業改良普及員

内 容：モモ果実の生理障害，モモの生理障害”赤肉症”の特徴

開催場所：岡山県農業総合センター

名 称：講義  
相 手 先：岡山県総合農業センター農業大学校  
タイトル：施設園芸論  
開催場所：岡山県農業総合センター農業大学校

名 称：講義  
相 手 先：岡山県生涯学習センター  
タイトル：平成14年度公開講座「岡山の畑作類型」  
開催場所：岡山県生涯学習センター

名 称：講演  
相 手 先：学内・外関係者，一般市民  
タイトル：生活環境を修復する常識への挑戦  
開催場所：岡山大学津島キャンパス自然科学研究科棟第講義室

名 称：講演  
相 手 先：埜町農林関係者  
タイトル：有機無農薬稲作「アイガモ農法」  
開催場所：福島県埜町商工会会議室

名 称：講演  
相 手 先：近畿中国四国農業試験場の作物関係者  
タイトル：高付加価値作物を利用した地産地消による地域活性化  
開催場所：広島県福山労働会館

名 称：講演  
相 手 先：環境保全型稲作現地研究会会員  
タイトル：水生シダ植物アゾラの農業利用  
開催場所：中国四国農政局

4) パネル展示等による社会的啓蒙活動 計4件（主な活動等を以下に記載）

相 手 先：岡山県  
内 容：平成14年度おかやま有機農業無農薬農産物フェア

5) マスコミに対する取材協力 計19件（主なマスコミ等を以下に記載）

朝日新聞社・山陽新聞社・TBSテレビ